

# 磐城調査新報

發行日(毎月十日)廿五日  
 福島縣平町新屋町二九  
 印刷所 加納活版所  
 印刷部 加納活版所  
 發行所 磐城調査新報社  
 電話五二〇〇  
 一部金十錢一月金廿錢  
 廣告料一行五字五錢

## 草野 何れが勝つか 赤坂 清貧天下の公認

### 兩老雄の血戦を見る

泣くも笑うも後三日、縣議補選の幕は降りる。古豪赤坂龜次郎老に凱歌揚るか、驍雄草野三郎氏に祝杯高く輝くか、これ神ならで誰人も知るものはあるまい。郡北に草野氏優勢と傳へられ、郡南に赤坂氏大量獲得の報あり、いづれも出身方部の地の利を物語るもので、蓋を開けば解らぬ問題ながらこの推意は當らずと謂へども遠くないと見るが至當であらう。

斯くして勝敗の鍵を握るは結局中部即ち平、内郷、好間、濱通り等の得票がこの二人の老政治家の死生を決するものと選挙通は語る。兩軍の陣容、戦術を見るに、草野派は常連の外更らに野崎滿藏氏一派の遊軍が敵の前後左右を脅かし、草野氏の選挙上手に野猪的突進があり。赤坂派は一上院、二下院議員の偉力を藏し、井上茂作氏が推薦の責任者として奮闘物す。赤坂氏の學識及政治経倫に加へ政友独自のネツチリした戦法も効果的に見逃せないものである。御兩人共戦費の無い事は天下の公認、従つて實弾戦等の不快な事のないのは吾人の快哉を叫ぶ處、運動員が手辨當でのこの一戦は眞に理想選挙たるの實を擧げてゐる。

軍配はいづれに揚るか、郡民は、選挙民は、兩氏の當落を度外視してもこの理想選挙をなした事に感謝し、この晴々とした氣持を忘れてはなるまへ。

泣くも笑ふもあと三日だ、候補者ご其一黨は最後の馬力をかけ倒れるまでの熱戦に闘士の面目を輝かせ。

選挙民は非常時現今の状況を冷観し、兩派政策の得失を思ひ、更らに兩候補の人物力量を三考して「清キ一票」の行使を正しくすべきであらう。

### 観艦式に 小田、青沼兩氏 御倍觀の榮に浴す

二十五日横濱灣頭に舉行される海軍大演習の華である大觀艦式に好間村小田吉治氏が縣下赤十字社有功章佩用者を代表して陪農繁、炎暑と數へてゐる。

棄權は郡民の面よごし  
捨てるな一票

### 草野三郎氏に 御投票を願います

#### 有権者各位

推薦者 馬 目 雅 治

私共の先輩草野三郎氏は前回の選挙でわづかな差で苦杯をなめてゐます、當時私は御承知の如く同じく先輩である野崎滿藏氏のため多少の責任を保持したばならぬ立場で奮闘してゐたので、草野氏の直接應援は出来なかつたが、しかし同氏が落選の報を耳にして悲憤の涙を流したのは決して同氏の運動員だけでなく外に私共のあつた事を申し上げます。草野三郎氏は何を云つても實力の有る人です。事に當つては、熱と力の所有者以外にない。

#### 有権者各位

熱の人、力の人草野三郎氏に是非御投票下さい。

平町新屋町二九

觀の光榮に浴すべく海軍大臣が然し選挙は我々國民に與へられら達しがあつた、根が野人肌の人清い尊い權利である。同氏恐縮してどうしたらよいか我々は必ず投票せねばならぬ。と迷つてゐるが、幸い青沼平町選挙は權利であると共に義務と長が自治功勞者として参加する考へたい。棄權は自己放棄であるので同氏と一處なら大丈夫と急る、有権者は一人殊らず投票せに勢づき早速フロックやシルクよ。棄權率の多少は郡民の政治ハットの調製其他に夜も日もな訓練のレベルを物語るもので小供の様に喜んでゐる。

### 縣會議員 候補者 草野三郎君

今回こそ是非共同君を當選せしむる様厚き御同情と御後援を與へられんことを謹んで奉懇願候

立憲民政黨石城部會

- 會長 鷺 清 昇
  - 副會長 吉 田 五 平
  - 同 石 川 德 壽
  - 幹事長 萩 原 義 雄
- 平町新屋町十六番地

### 縣會議員 候補者 草野三郎君

今回の補欠選挙に際しては前回に惜敗したる同君の雪辱戦として我等同志は一致結束して其の必勝を期すること御援助切に御願申上候

- 植田民政俱樂部
  - 平民政同志會
  - 内郷民政同志會
  - 小名濱昭和會
  - 江名昭交會
  - 好間民政同志會
  - 高久民政同志會
  - 上遠野民政同志會
  - 入遠野民政同志會
- 責任者 平町立町十一番地 荒川淺次郎

### 縣會議員 候補者 草野三郎君

右最適任者と認め極力其當選を期す

- 漆畑元吉 江尻藤次郎
- 野崎滿藏 箱崎半右衛門
- 山野邊義政 鈴木房次郎
- 吉田壽三郎 馬目雅治

平町新屋町二九

